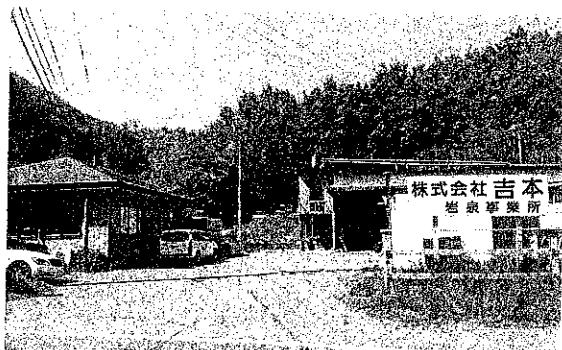


2021.8.5

5月から製材事業堅調

受注断らない姿勢貫く

吉本



製材・ラミナ生産の岩泉事業所

吉本（長野県南佐久郡、由井正隆社長）は、岩泉事業所（岩手県岩泉町）で製材と集成材（ラミナ）を生産している。ウッドシステムの影響で10年から受注が急増しており、安定的な生産体制を続けるためにも社太仕入れに力を入れている。製品受注についで、供給している。供給量や納期は希望通りおどりかないものの、1社も断ることなく製品を供給している。

上信起版

木炭問屋店」として
「与志本商店」を開業し、会社組織に変更して木炭
や鉄道用枕木、杭丸太などの取引へ広げていった。19
10年代から山林事業も展開。現

る。樹種はほぼカツラで、製品比率は集成材ラミナが約8割、残りが建築（畜舎や豚舎の柱や梁など）向けだ。素材生産・販売はカラ松を筆頭に引き合いはおらず盛だったが、製材事業は苦戦続きだった。ただし、5月以降は生産能力を上回る受注で、丸太在庫を切らさないように受注消化に努めている。

丸太価格の上昇もあつて、社有林などからの伐出を含めて平均単価の抑制に努めている。丸太在庫量は最低でも1000立方㍍の常時確保を怠っている。

は一社も譲らない主義。
姿勢を徹底している。
もちろん顧客の希望ど
おりの数量や納期で生
産・供給できないもの
はあるが、必要として
いる量を部分的にでも
供給したり、納品時間
をもらったりして対応
していくといふ。